

一人1日平均231リットルの水を使っています

◎給水の状況

私たちは、水をどれくらい使っているのでしょうか。

水を使う家庭の数（給水戸数）は、平成15年度末で2万1千494戸と、前年度に比べ104戸減少しました。これは工事現場などで使用する臨時用の戸数が減ったことが主な原因です。

また、みなさんが使った水の使用量（年間給水量）は450万2千53立方メートルと、前年度に比べ1万8千264立方メートル減少しました。これは人口減などの影響により家事用の給水量が落ち込んだことが主な原因です。

なお、1日の使用水量を1人当たりで換算すると約231リットルの水を使用したこととなります。前年度に比べ約1リットルの減量となっています。

平成15年度の用途別給水戸数と給水量
(カッコ内は平成14年度)

用途別	給水戸数(戸)	年間給水量(立方メートル)	1日1戸当たり平均給水量(リットル)
家事用(一般家庭用)	20,103 (20,123)	3,465,159 (3,485,625)	471 (475)
家事用以外(業務・公共用)	1,306 (1,326)	993,613 (987,811)	2,079 (2,041)
公衆浴場用(銭湯用)	4 (4)	40,383 (42,413)	27,584 (29,050)
臨時用(工事用)	81 (145)	2,898 (4,468)	98 (84)
合計	21,494 (21,598)	4,502,053 (4,520,317)	572 (573)

水道施設を維持するために

◎借入金の状況

安定した水の供給を維持するためには、浄水場や配水管などの水道施設を常に整備していかなければなりません。この整備には、億単位のお金が必要になり、手持ちのお金では賅うことができません。そこで、国などから借金をして、約30年をかけて水道料金の中から返済しています（水道事業では、この借金を『企業債』と呼んでいます）。

また、この借金は、現在、水道を利用して市民だけではなく、将来、利用する市民にも公平に負担してもらうという目的もあり、単純な借金ではありません。

平成15年度末現在で借入元金の残高は、表のとおり56億5,852万円となっています。これを給水人口1人当たりに換算すると10万6,064円になります。

借入先	借入元金	借入元金に対しての利息	合計
政府資金	34億3,096万円	12億 494万円	46億3,590万円
公営企業金融公庫	22億2,756万円	6億7,524万円	29億 280万円
合計	56億5,852万円	18億8,018万円	75億3,870万円
給水人口1人当たり	106,064円	35,242円	141,306円

水道施設整備の状況

平成15年度に実施した工事は、次のとおりです。

区分	工事内容	事業費
送配水管新設工事	幹線となる配水管を布設し、水道水の安定供給を図るための工事を行いました。また、配水管(水道管)が整備されていない公道内に、配水管を布設し、水圧低下などの解消を図る工事を行いました。	1億4,662万円
送配水管改良工事	赤水発生の解消や地震などの災害に強い水道施設の整備を図るため、老朽化した配水管の改良(更新)工事を行いました。	1億3,523万円
送配水管移設工事	公道の拡幅工事や下水道工事などに伴い、支障となる配水管の移設工事を行いました。	2,201万円
柏木配水池新設工事	低水圧の解消や災害など非常時の安定給水の確保を図るため、平成14年度の本体工事に引き続き、ポンプ設備の設置工事などを行いました。(2カ年の継続事業～平成15年10月完成)	8,205万円
その他の工事	配水管工事に伴う道路の舗装復旧工事、千歳ポンプ場の建替工事や浄水場の薬品貯槽タンク取替工事などを行いました。	1億4,405万円
水道メーター取替工事	計量法で定められている水道メーターの取り替え(8年ごと)の工事を行いました。	2,862万円



▲配水管改良工事



▲柏木配水池